

【実施体制】

総長を総括責任者、男女共同参画担当副総長を実施責任者とし、機関全体の組織的な体制の下に実施する。また、男女共同参画センターと、工学研究科の専門委員会のメンバーによって特性対応型運営委員会を組織する。セミナーの実施等において、卓越大学院DII共同大学院プログラムからの協力を得ながら、効果的なプログラムのマネジメントを行う

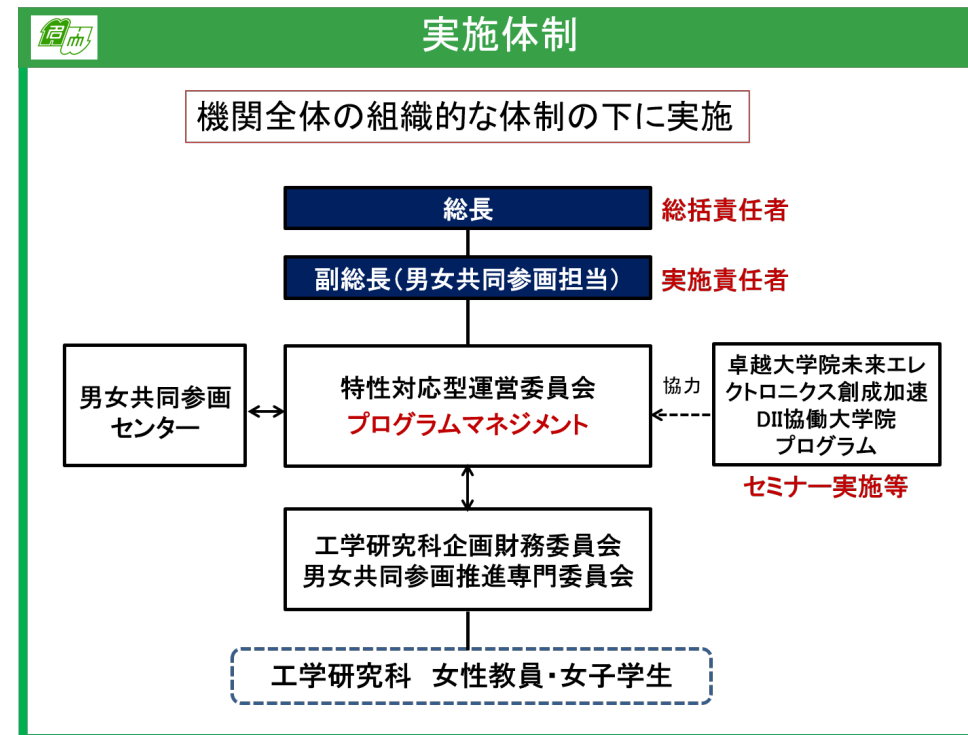
【特長】

1. 学生・教員数において最大部局であるものの、最も女性教員比率の低い工学部・工学研究科における女性研究者の増加を目指す
2. 電子ラボノートの開発やシェア秘書システムの導入による性別によらない「働き方の改革」の実現
3. フェローシップ制度構築による女子学生の博士後期課程への進学増加

【取組概要(目標)】

1. 女性研究者の研究効率の向上等のための取り組み
 - ・「デジタル研究環境整備プロジェクト」: 電子ラボノートの開発
 - ・「シェア秘書システム」
2. 女性研究者の研究力の向上等のための取り組み
 - ・「名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程女性フェローシップ制度」
 - ・「工学系女性進学推進セミナー」
 - ・「工学系女性コミュニティ」
 - ・工学部建物への「女性専用リフレッシュルーム」の設置

【体制の概要】



【支援内容】

・「デジタル研究環境整備プロジェクト」

工学研究に適した電子ラボノートをベースに、本事業に参加する女性研究者の視点でカスタマイズする。さらに、本学発のベンチャー企業の協力を得て、機械学習との連携によるデータ解析の自動化等を進め、研究効率を飛躍的に向上できる電子ラボノートへと進化させる。男性にとっても有用なツールとなり、性別によらない「働き方の改革」につながる

・「シェア秘書システム」

工学研究科女性教員の業務支援・ネットワーキング支援・働き方モニタリングによるワークバランス改善

・「名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程女性フェローシップ制度」

支給額を抑えてなるべく多くの女子学生を経済的に支援

【広報関係】

・「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」（H29年度採択）の「研究者リーダーシップ・プログラム」

さまざまな研修を受けることで研究効率を向上させるとともに、参加者間で育児と研究の両立等についての悩みや知恵を共有することで、キャリア形成へのモチベーションを高めている

・「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」（H29年度採択）の「女性研究者トップリーダー顕彰」

「特に優秀な女性研究者」（研究業績・研究能力が優れているだけでなく、近い将来、本学の役員や管理職として活躍することが期待される女性研究者）を、各部局から1名推薦してもらい、本顕彰制度選考委員会で選考し、推薦された候補者の中から2名程度を「女性研究者トップリーダー」として顕彰している。顕彰された女性研究者には、研究費（40万円程度）を支援している。本取組では、女性トップリーダー育成だけでなく、各部局がトップリーダーとしての資質を有する女性研究者を推薦する過程も含めて、部局内の意識啓発に繋がることを期待されている

【お問合せ】

機関名：国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学

所在地：愛知県名古屋市千種区不老町

連絡先：男女共同参画センター kyodo-sankaku@adm.nagoya-u.ac.jp

HP：<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>